

指標	指標ほか		単位	R2	R3	R4	R5	R6	
	成果指標	違反広告物件数	件	目標	—	—	—	—	—
				実績	147	80	41	32	
	活動指標	まちなみや景観に関心がある人の割合（市民意識調査）	%	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	—	84	
	活動指標	違反広告物点検回数	回	目標	—	—	—	—	—
				実績	63	65	56	28	
	活動指標	違反広告物除却件数	件	目標	—	—	—	—	—
				実績	147	80	41	32	
	単 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
受益者あたり事業費(=C/a)		円							

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持(改善)	事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの				
	事業の達成状況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・景観を阻害する要因(ゴミのポイ捨て、不法投棄、違法看板など)による地域問題なども特に無く、一定水準の景観が保たれていることから、年々、違反広告物件数は減少している。 ・市内各所に設置されている施設案内サインの老朽化に対応するため、定期的なサイン点検は実施しているものの、今後は、修繕料の増加が懸念される。 ・公共施設への案内を目的とするドライバー系サイン及び歩行者系サインについては、現在、「小牧市サイン計画」に基づき整備を進めているが、昨今は、カーナビゲーションやスマートフォンによる地図情報の取得が容易になり、代替する機能が普及したことで、施設案内サインの効果が低下している状況である。 更に、ドライバー系サインの設置にあたっては、測量・設計から工事まで、1基当たり1千万円程度と高額な費用がかかることから、整備が進まない状況である。 	今後の実施内容・今後の改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・違反広告物の点検については、職員や業務委託による巡回を行うとともに、ボランティア団体と連携し効率的に除却活動を行うことで、違反広告物の減少に努めていく。 ・施設案内サインの安全点検を継続的に実施することにより、ライフサイクルコストの縮減を図る。 ・今後増加が見込まれる施設案内サインの修繕については、複数の修繕箇所の発注を集約し効率化することにより、事業費の縮減を図る。 ・今後のサイン設置については、費用対効果を検証したうえで、設置箇所を絞って整備を進めるとともに、設置済みサインの維持管理方針や今後の配置計画の見直し等を行うため、「小牧市サイン計画」の改定を進めることにより、事業の見直しを図る。 			
	改善の有無				千円	節	細節
これまでの改善内容			事務事業評価額				

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

		評価項目	評価結果	評価結果を判断した理由
事業分析	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	景観に配慮した美しいまちを維持していくために必要な事業である。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	景観整備事業は、市内全域を対象としているため、多くの住民に影響がある。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	可能な限り効率化を図りながら、事業を実施しているため、現状のままとしたい。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	ボランティアを活用し、必要最小限の委託等により事業を進めており、現状維持としたい。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	景観整備事業は、全市民を対象としていることから、受益者負担は公平かつ適正である。